平成 24 年度 シラバス		学年・期間・区分		
		対象学科・専攻	情報工学科	
電子計算機 I (Computer Engineering I)		担当教員	芝 浩二郎(Shiba, Kojiro)	
		教員室	情報工学科棟4階(TEL: 42-9095)	
		E-Mail k_shiba@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数		講義 / 履修単位/ 2単位		
週あたりの学習時間と回数 〔授業 (100 分)〕×30 回				
〔本科目の目標〕 電子計算機のハードウェアの構造、動作原理の基本について理解する.				
〔本科目の位置付け〕 電子計算機のハードウェアの構造、動作原理の基本について理解する.				
〔学習上の留意点〕 論理回路の知識が必要である. 本科目は3学年と4学年の工学実験の理論的な説明になっているので十分な				
理解が必要である. 授業の始めに前週の重要事項の小テストを実施する.				
〔授業の内容〕				
授業項目	時限数	授業項目	に対する達成目標	予習の内容
1. コンピュータアーキテクチ	12	□ コンピュータシステムの全体像のイメージをつかむ		p.1-p.28の内容について教科書
ャとは		□ コンピュータシスラ	を読んで概要を把握しておく.	
		ェアの機能分担を理解できる.		
		□ コンピュータ技術の		
		ヤ理解できる.		
		□ ノイマン型の基本ハードウェア構成を理解できる.		
前期中間試験		授業項目1について達成度を確認する.		
2. 基本アーキテクチャ	16	□ コンピュータシステム	の心臓部に相当する CPU の全体	p.29-p.72 の内容について教科
		像を把握する □ 命令セットアーキテクチャ理解できる.		書を読んで概要を把握してお
				<.
		□ アセンブラを理解し	ン,応用できる.	
2/4HnHn L - 3 NEA			Notes address to a	
前期期末試験		授業項目2について達成度を確認する.		
3. コンピュータにおける数表	8	 □ コンピュータの数値ラ	データの切い古	p.73-p.98 の内容について教科
現		□ r 進数表現を理解し応用できる.		書を読んで概要を把握してお
50		□ 固定小数点と浮動小数点理解し応用できる. <.		
		□ 2進コード理解し応用できる.		
			3713 CC 5.	
4. 論理回路	8	 □ コンピュータのハート	設計で使用する回路の扱い方	p.99-p.122の内容について教科
		□ ブール代数と論理演算理解し応用できる.		書を読んで概要を把握してお
		□ 組み合わせ回路理		<.
		□ 順序回路理解し応	用できる.	
後期中間試験		授業項目3,4について道	達成度を確認する.	
5. 制御アーキテクチャ	14	□ コンピュータハード記	段計の中心部である制御部設計の	p.123-p.163 の内容について教
		ための知識の習得		科書を読んで概要を把握して
		□ 制御アーキテクチ		おく.
			のインターフェイスを理解できる.	
		□ 割り込みを理解でき	きる.	
CO Halle 1 - bed)	
後期期末試験	-	授業項目5について達成		
試験答案の返却・解説 2 各試験において間違った部分を理解出来る.				
〔教科書〕 コンピュータアーキテクチャの基礎、柴山潔、近代科学社				
「参考書・補助教材」 日経エレクトロニクス, トランジスタ技術, インターフェイス 「世途歌/研の甘港」 中間学験なりとが明生学験を決壊 (750/) しいこれ 1 (950/) 「極楽教を序(見せ 900/)				
「成績評価の基準」 中間試験および期末試験成績(75%)+小テスト(25%) -授業態度(最大 20%) [本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-c				
(本件 (単子工課程) の子首教育日標との関連) 3-c (教育プログラムの学習・教育目標との関連)				
[JABEE との関連]				
Commercial Control Control				

Memo